

# 令和5年度 食育チャレンジシート 集計結果

別紙

取組期間：令和5年11月～令和6年1月のうち任意の7日間

## 県内全体の参加・達成状況

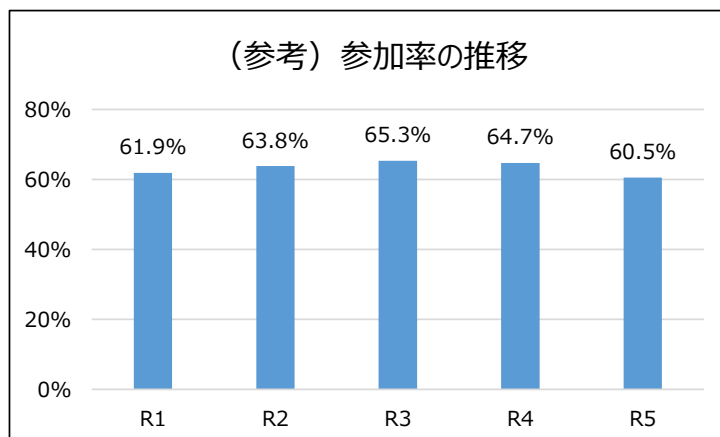
	人数	学校数
対象者数※1	56,058	215
参加者数※2	33,914	197
達成者数※3	9,491	-
参加者率	60.5%	91.6%
達成者率※4	28.0%	-

※1対象者数：国立、公立、私立、特別支援学校小学部児童の合計

※2参加者数：チャレンジシートを提出した児童数

※3達成者数：○の数がつが7日間の児童数

※4達成者率：参加児童数に対する達成者数



## チャレンジした感想

### 小学生からの感想

- 朝早く起きた方が、朝食をゆっくり味わって食べられるとわかった。今度はごはんを作りたい。
- 毎日「赤・黄・緑」の食材を使って健康に過ごしたい。
- 毎日野菜は必ずあるのは、作ってくれている人が栄養を考えているからなんだと思った。
- チャレンジしたら、きれいなしめじが食べられるようになった。
- 「好き嫌いをしないで食べ物に感謝して残さず食べよう」がSDGsの取組になったのかなと思った。
- 気を付けないと「一点食べ」になるので気を付けます。
- おやつを食べる量と時間を決めたら、ごはんが全部食べられたから、これからも続けたい。
- 一緒にメニューを考えると、みんなの会話がふえたので、これからも続けたいと思った。
- 食器やはしを並べ、後片付けをすることは、自分でも簡単にできるお手伝いなので、これからも続けたい。
- お母さんといっしょにご飯を作って、家族に「おいしい」「おかわり」などの言葉を言われると、とてもうれしかった。
- お米を炊いたら、みんなが喜んでくれてうれしかった。
- おせちについて家族で調べて勉強になった。
- いつもご飯を作ってくれている親など、そして野菜や肉などを育ててくれた人に感謝したい。
- 食品ロスを0gにしていきたい。
- 主食・主菜・副菜があることを知った。災害があると3つをそろえて食べられないんだなと思った。
- 食事を毎日とれるありがたさを実感した。今回の地震で今でもちゃんとした食事がとれない人がたくさんいるけど、自分は食事をとれてありがたい。
- 地震が起きて食の大切さを感じた。バランスのよい食事をしてひなん生活も健康でいたい。

### おうちの方からの一言

- ◆ いつもよりも意識して食べたり、準備したりできて、会話も増えて楽しかったね。
- ◆ これからも心を込めて「いただきます」「ごちそうさま」と感謝の心を忘れないでほしいです。
- ◆ お手伝いもして、苦手な野菜に挑戦して残さず食べてくれてありがとう。
- ◆ チャレンジ中に親のお弁当におにぎりを作ってくれました。小さい手で小さなおにぎりでしたが、毎日おいしかったです。
- ◆ 震災もあり、食品の大切さをより理解しているようです。保存食などについても伝えていきたいです。